

第 141 回 西アジアの植民地化

1 エジプトの植民地化

- ・オスマン帝国領のエジプトでは、2 度の（ ）を経て、ムハンマド=アリーが総督の世襲を認められ、事実上の独立状態となっていた。



ムハンマド=アリー
19 世紀前半のエジプトの歴史は、この男の歴史である。

☆エジプト（ムハンマド=アリー朝）（1805～1952 年）

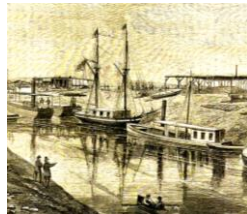
- ◆（ ）（在位 1805～1849 年）
 - ・フランスの援助によるエジプトの近代化をおしすすめていった。
 - ・1838 年、トルコ=イギリス通商条約がエジプトにも適用され打撃を受けた。
- 相次ぐ戦争や急激な富国強兵のため、ムハンマド=アリーの死後にエジプト財政は破綻寸前となった。

- ・1869 年、フランス人（ ）により（ ）が開通した。
 - 地中海と紅海がつながり、アジアとヨーロッパの航海が容易となった。
 - しかし財政難のエジプトは、これを売却せざるをえなくなった。
- ・1875 年、イギリス首相（ ）は、ユダヤ財閥（ ）からの融資により（ ）を行った。
 - イギリスによるエジプト進出が本格化していった。



レセップス

フランス人で元外交官。スエズ運河株式会社を設立して資金を集め、開通に成功した。後にパナマ運河の建設にも挑戦したが、こちらは失敗した。



開通当時のスエズ運河

全長 162 キロ。完成まで 10 年かかり多くの犠牲者を出した。これにより喜望峰をまわらずに、ヨーロッパとアジアを行き来できるようになった。



保守党のディズレーリ

おなじみ保守党のディズレーリ。彼がユダヤ系であったことは、スエズ運河の買収に大きく影響した。小説家でもある。

- ・1881 年、エジプトの軍人（ ）は、外国の支配に反対し「エジプト人のためのエジプト」を主張して革命を起こした（ウラービー革命）。
 - イギリスはこれを鎮圧し、以後エジプトは事実上イギリスの保護国なった。



ウラービー大佐（パシャ）



イギリス軍

スエズ運河を売却したにもかかわらず、エジプト政府は 1876 年に破産したため、イギリスなどに財政を管理されるという屈辱的な状態となった。ウラービーはセイロン島に流刑となったが、彼の運動は、エジプト民族運動の出発点と評価される。



2 アフガニスタン・中央アジアの植民地化

☆アフガン王国（ドゥッラーニー朝）（1747～1842 年）

都…（ ） ※現在もアフガニスタンの首都

- ・（ ）は、1838 年に始まる第1次（ ）では敗れたが、第2次アフガン戦争の結果、1880 年にアフガニスタンを保護国とした。

- ・ロシアは中央アジアへの南下政策を行い、1867 年にトルキスタン省を設置した。
→1868 年に（ ）、1873 年に（ ）がロシアの保護国とされ、1876 年には（ ）がロシアに併合された。



パシュトゥーン人の少女

パシュトゥーン人は、アフガン人とも呼ばれ、今もアフガニスタンで最も多い民族である(45%)。エメラルド色の瞳をした人が多いらしい。平和になったら行きたい。



廃墟のカーブル

ターリバーンとの戦争で廃墟になり、現在復興中。ニュースなどでは「カブール」と言っているが、アラビア文字の発音からすると正確にはカーブルです。



ロシア皇帝アレクサンドル2世

ロシアは、ユーラシア大陸全土で南下政策を進めていた。中央アジアをめぐるイギリスとの対立は、「グレートゲーム」と呼ばれた。

3 イランの植民地化

- ・イランでは（ ）が滅ぼされた後、アフシャール朝、ザンド朝、そして1796 年にカージャール朝が建国された。

☆（ ）（1796～1925 年）

都…（ ） ※現在もイランの首都

- ・南下政策を進めるロシアに敗れ、19 世紀初頭にアゼルバイジャンを失った。
→さらに1828 年、（ ）を結び、黒海とカスピ海に挟まれたカフカスの（ ）がロシア領となり、関税自主権を失った。
- ・アフガニスタンをめぐる争いでも、イギリスに敗れた。
- ・サイイド＝アリー＝ムハンマドは自らをバーブと称し、（ ）を始めた。
→ロシアやイギリスの進出に反発し、1848 年に（ ）を起こした。
※鎮圧されたが一部は後にバハーイー教へと発展した。
- ・また民衆も、（ ）などでヨーロッパの進出に抵抗した。



テヘラン

テヘランの自由広場に建つモニュメント。現在では人口1000万人をかぞえる、イラン最大の都市である。一度行ってみたいが、私は入国できない…。



水タバコ

タバコを吸う当時のイラン人。中東では、紙タバコだけではなく、水タバコも一般的である。水をフィルター代わりにする。



アフガーニー



ムハンマド＝アブドゥフ

2人の活動は、ウラビー革命や、タバコ＝ボイコット運動に大きな影響を与えたとされる。アフガーニーの方が早い。

4 パン＝イスラーム主義の広がり

- ・西アジアの植民地化に対して、イランの（ ）やエジプトのムハンマド＝アブドゥフのように、（ ）を唱える者も現れた。